

12. 胆道がん

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学療法	放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
							体外照射	小線源治療		治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1 消化器外科	17	9	状況 ○ 実績 あり	○	×	×	胆道疾患の中で最も診断治療が困難な肝門部胆管癌について、PTCDをはじめ術前の治療はもちろん、右前区域、後区域枝をわけて切除するところまで手術対象としております。胆管、胆嚢癌では切除可能例だけでなく、切除不能症例や再発症例に対する全国規模での集学的治療の臨床試験参加施設。放射線治療は、眼に見えない放射線という物質を巧みに操ることで腫瘍性疾患を消滅・縮小させるものです。うまく使えば手術や化学療法以上に素晴らしい力を発揮します。もちろん欠点もありますから、他の治療との連携が非常に重要です。そして、患者さんの意識がある状態で行うことが多いので、患者さん	ア http://www.onh.go.jp/surgery/html/sikkan/kanzou.html イ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
2 放射線治療科	2	2	状況 × 実績 なし	×	○	○		ア http://www.onh.go.jp/radiolog/ イ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
3			状況 実績					ア http:// イ http://				
4			状況 実績					ア http:// イ http://				
5			状況 実績					ア http:// イ http://				

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 胆管がん、胆嚢がん 胆管細胞癌、胆嚢癌、肝内胆管癌、肝門部胆管癌
------------------------------------	--